

尾道文化第十六号 目次

巻頭言 板阪 卓児

●評論

「俊頼髓脳」における和歌説話について 森山 茂……………1
 詩作過程における イメージ言語との接点について 藤井 壮次……………20

●随想

俳句の話 藤井 亘……………25
 私の尾道・今昔 中村 禮子……………33
 初心 矢形 勇……………40
 エベレスト眺望と生体応答 平松 携……………43
 猪子迫大獅子舞の心 岩戸 徹郎……………50
 石ぶみ「灌園房清溢」 菅 脩二郎……………56
 —花道池坊流の名人— 菅 脩二郎……………56
 越境するアウトサイダー 菅 脩二郎……………56
 —童心と名探偵 菅 脩二郎……………56
 尾道文化研究会の先駆 菅 脩二郎……………56
 —戦後・尾道文化運動史— 菅 脩二郎……………56
 芙美子随想・尾道 菅 脩二郎……………56
 唐詩紀行 菅 脩二郎……………56
 尾道出身の作家(三) 菅 脩二郎……………56
 行友李風さんのこと 菅 脩二郎……………56
 畠中美恵子……………93

国破れて山河あり —奉仕作業の思い出—

浦崎の野鳥 鶴(パン) 青木 博……………99
 俳句百年 船木 幸人……………105
 映画百年(3) 船木 幸人……………109
 築地の志賀直哉 森 信蔵……………130

●文芸作品

詩 島へ —和泉式部の墓— 久井 茂……………134
 海霧 木村大刀子……………137
 更地にて 他一編 高垣 憲正……………140
 散文詩 緑疸 信来 民夫……………142
 短歌 世紀短歌会・波動短歌会・浦崎短歌会・個人 狩俳句会……………144
 俳句 狩俳句会……………160
 小説 絵のない絵本 「ひまわり」 池辺ケイコ……………166
 のうちちゃん 西原 通夫……………171
 モーツァルト 川野 弘之……………180

●美術作品

絵画・彫刻・工芸・書・写真・華道……………193
 編集後記……………205
 表紙絵について……………19
 とびら写真について……………129
 (題 字) 藤原 勝子
 (カット・挿絵) 織田 恭一



尾道文化

第十七号

目次

巻頭言 尾道市文化協会会長 板阪 卓児
 ご挨拶 尾道市長 亀田 良一
 ・尾道市制百周年記念文学賞 フェア
 ・尾道うずしお文学賞 入賞者名簿及び表彰式スナップ 6
 ・入賞作品三篇

・大賞 尾道の笑顔 千々岩和美 8
 ・優秀賞 郷愁をそそる町 中 幸二 19
 ・佳作 玉蘊の見た夢 永和里佳子 29
 ・尾道うず潮文学賞選評

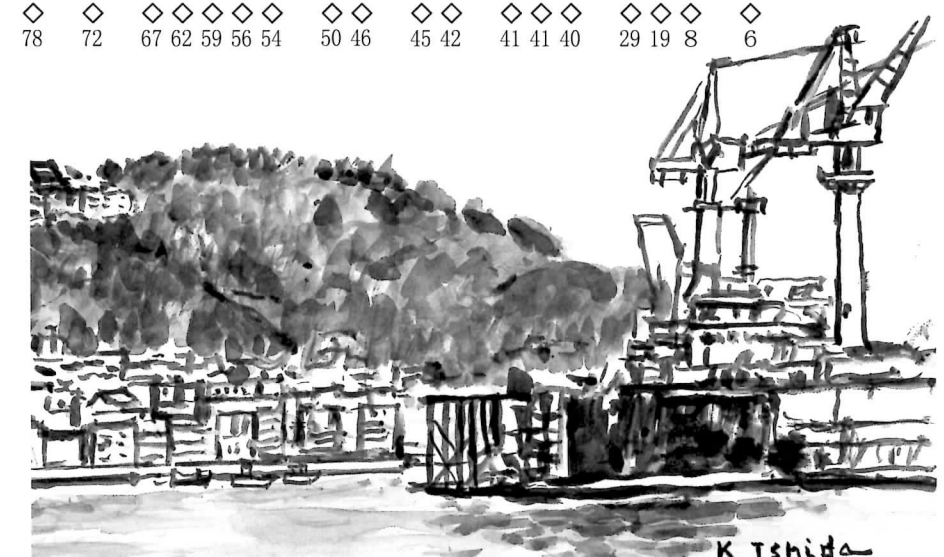
地域と文化 | 尾道文化への親しみ | 尾道短期大学教授 森山 茂 40
 広島女子大学教授 坂根 俊英 41
 尾道短期大学教授 寺杣 雅人 41
 広島県文化団体連合会 会長 国利 義勇 42
 | 尾道文化への親しみ | 小野耕之補 45
 おせ部屋 小野耕之補 45
 「高垣眸・行友李風展」にみるもうひとつの演劇史 森 弘太 46
 創造の営み(「尾道文化」のあゆみ) 野上 久人 50
 尾道の文化活動

・これからの絵画(美術部) 石田 克彦 54
 ・私と尾道(音楽・芸能部) 宮澤 雅男 56
 ・尾道の茶華道(茶華道部) 漆原 利之 59
 ・文学の発信基地・尾道(文芸部) 藤井 壮次 62
 ・おのみち文学の館 森重 彰文 67
 評論

・平田玉蘊 入船 裕二 72
 ・竹原小早川氏の家臣団覚書 菅 脩二郎 78
 | 尾道の山田氏について | 小西 眸 81
 『天神縁起絵巻』輪読より 藤井 佐美 84
 随想 青木 博 90
 鏡の中の少女 森本 輝郎 95
 歌碑建立の延長線で発想 | 歌人・中村憲吉を通じ文学交流 | 多田 義信 99
 ・梵字岩と梵鐘について 船木 幸人 103
 ・「映画百年」(4) 川野 弘之 112
 ・『波動』と尾道 船木 幸人 121
 ・俳句百年 西行VS秋櫻子 小山 幸人 128
 ・浦崎の野鳥 翡翠(カワセミ) 岩戸 徹郎 132
 ・杏奈と沙也加、生と死の物語

文芸作品 久井 茂 136
 詩 いまは冬 吉野 太郎 140
 夕焼けのうた 信来 民夫 142
 白い絵 池辺ケイコ 148
 短歌 世紀短歌会・浦崎短歌会・波動うずしお短歌会・個人 158
 ・俳句 第一回しまなみ海道俳句大会・狩俳句会・俳句を楽しむ会 168
 ・童話 絵のない絵本「どうそう会」

美術作品 池辺ケイコ 173
 絵画・書・工芸・華道
 編集を終って
 表紙絵 第八回「絵のまち尾道四季展」グランプリ 原田たかし 135
 ・とびら写真について 135
 ・題字 藤原 勝子
 ・装画・カット 石田 克彦



K. Ishida

尾道文化

第十八号

目次

巻頭言

尾道市文化協会会長

板阪 卓兒

● 高知と尾道 文学交流の第一歩

坂のある町

今井 嘉彦 …… 8

尾道点描(短歌)

文学交流シンポジウム高知県参加者

森重 彰文 …… 9

文学から生まれる地域連携

清水 金二 …… 12

※ 評論

● 尾道が生んだ巨匠 彫刻家矢形勇氏の生立ち

入船 裕二 …… 18

● 憲吉、眸、美智子、の文学碑建立について

小西 眸 …… 23

● 山下陸奥歌碑建立並びに尾道市への贈呈を終えて

船木 幸人 …… 28

● 俳句百年「俳句大要」

森本 輝郎 …… 32

● ロマンがあつて懐かしい「でっかい夢」唄った32年前

平松 携 …… 38

● チベット標高5000メートルの世界

光原 百合 …… 41

● 「意味」の過剰と希薄

藤井 壮次 …… 47

● 私的文学考(二)・私的文学考(三)

栗本 秋夫 …… 53

※ 随想

● 随 想

平田 直樹 …… 59

● 平和について

青木 博 …… 61

● 最後の新兵

川野 弘之 …… 66

● 感 覚 論

石井 恵美子 …… 72

● 私の教育の原点 ミーシャの たまご

小山 歩 …… 77

● 浦崎の野鳥

岩戸 徹郎 …… 83

● 老い知らず観音秘話

世紀短歌会 …… 88

※ 文芸作品

● 短歌 一〇〇首

浦崎短歌会 …… 92

● 俳句 五〇首

波動うずしお短歌会 …… 103

● 俳句 九〇首

しまなみ海道俳句大会 …… 108

● 俳句 六句

狩俳句会・尾道支部 …… 117

● 俳句 七〇句

句会 瑠璃 …… 119

● 俳句 四五句

入船 裕二 …… 126

● 詩 玉蘊画美人舟遊図

久井 茂 …… 131

● 春のスクリブル

藤井 壮次 …… 133

● 黒いスリッパ

仲尾 修 …… 134

● 試運転

吉野 太郎 …… 135

● 思いと立ち話

信来 民夫 …… 137

● 即興旅の唄 南の島で

池辺ケイコ …… 139

● 「金の髪かざり」

「文学関係著書発刊の記録」および「寄贈出版図書の紹介」

池辺ケイコ …… 141

● 「金の髪かざり」

…… 146

※ 美術作品

● 絵画・工芸・書・写真・華道

…… 148

〈編集後記〉

● 表紙装画

田中 文恵 …… 71

● 第八回「絵のまち尾道四季展」秀作

藤原 勝子 …… 82

● 中表紙写真について

上野 重治 …… 82

● 題字

…… 82

● 装画・カット

…… 82



§特集 交流文学

“松江と尾道”を結ぶ文学交流
 水に親しむ志賀直哉 — 尾道から城崎、松江へ—
 第一回文学ルート川柳入賞作品
 第四回しまなみ海道俳句大会
 第十五回国民文化祭・ひろしま二〇〇〇「文芸祭」俳句大会 現代詩大会
 瀬戸内しまなみ海道短歌コンクール
 おのみち映画資料館

寺本 喜徳 ◆ 9
 ◆ 10
 ◆ 17
 ◆ 20

§評論

倉田百三の青春 — 尾道の海—
 〈コラム〉滯のみち(1)
 イギリス—ナショナル・ギャラリー—(英国国立美術館)
 私の尾道(その二)
 『百人一首抄《宗祇抄》』にみる和歌の評価
 化政期、尾道を訪れた文人たち(一)
 『洋々たる表現、わかりやすい表現』で書けないか
 —詩集「人間島」に寄せられた小林和作先生のご書簡—
 持光寺・所蔵 国宝「絹本着色普賢延命像」について
 一いつどうして始まったのか
 —陣幕久五郎、西郷四郎追悼—

花本 健治 ◆ 25
 ◆ 24
 ◆ 22
 ◆ 20
 ◆ 17
 ◆ 10
 ◆ 9
 国利 義勇 ◆ 29
 F ◆ 38
 ◆ 39
 ◆ 43
 ◆ 52
 ◆ 63
 ◆ 68
 ◆ 75
 ◆ 80
 ◆ 85
 清水 金二 ◆ 85
 松岡 昭禮 ◆ 75
 森本 輝郎 ◆ 80
 川野 弘之 ◆ 91
 皇中美恵子 ◆ 97
 S・K ◆ 104

§随想

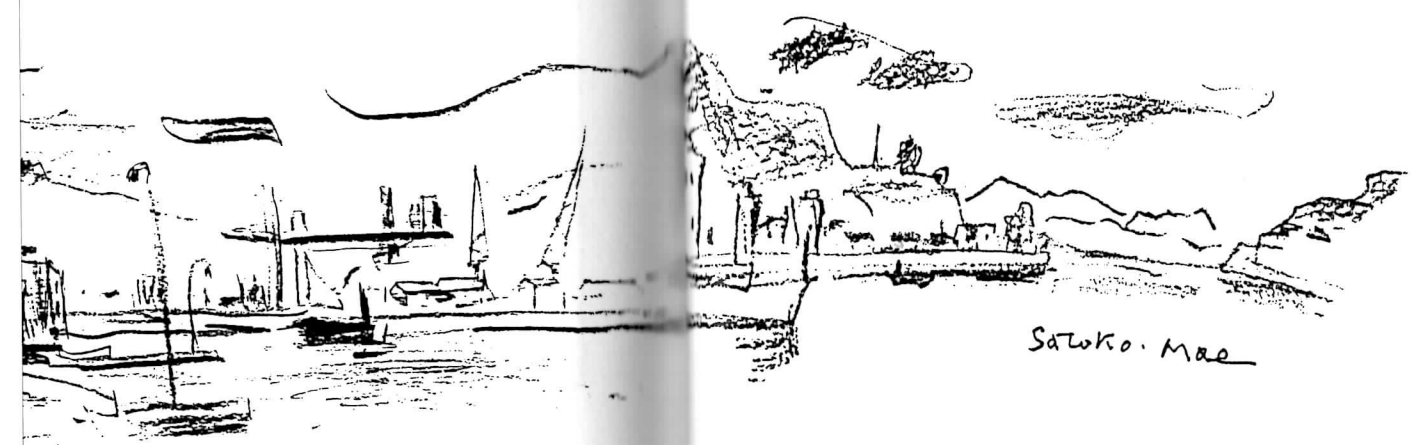
河口慧海と西川一三の通ったチベットの時と湖
 新開千晩と尾商俳句会
 「れ・へるぶ」の青春
 原爆体験記
 教師一年生 —デモシカ先生の頃—
 新世紀の花の誘い
 バスに揺られて
 小林多喜二と尾道のつながりを求めて
 浦崎の野鳥 フクロウ「梟」
 俳句・百年
 備前国藤戸村 —平家物語に言う—
 映画・百年

§文芸

・俳句 九〇句
 六〇句
 一〇句
 ・漢詩 田能村竹田
 見代詩

狩俳句会・尾道支部 ◆ 173
 風「雉」三原句会 ◆ 182
 入船 裕二 ◆ 189
 ◆ 188

吉田 繁 ◆ 107
 高垣 憲正 ◆ 113
 花本 圭司 ◆ 119
 水野 邦三 ◆ 127
 青木 博 ◆ 134
 石倉登喜子 ◆ 139
 渡辺 哲 ◆ 142
 高垣 俊雄 ◆ 147
 小山 歩 ◆ 151
 船木 幸人 ◆ 154
 小西 眸 ◆ 161
 船木 幸人 ◆ 163
 ◆ 166
 ◆ 173



新開千晩と尾商俳句会
「れ・へるぶ」の青春
原爆体験記
教師一年生 ―デモンシカ先生の頃―
新世紀の花の誘い
バスに揺られて
小林多喜二と尾道のつながりを求めて
浦崎の野鳥 フクロウ「梟」
俳句・百年
備前国藤戸村 ―平家物語に言う―
映画・百年

§ 文芸

・俳句 九〇句
六〇句
一〇句
・漢詩 田能村竹田
・現代詩 見られている
散歩道
虫
木
果樹園のあなたに
八五首
九五首
四五首
雨の午後
白い犬
・童話 三枚のお札異聞
・小説 絵姿女房その後

§ 絵画・彫刻・書・写真・華道

§ 記録

「文学関係著書発刊の記録」 「寄贈出版図書を紹介」

〈編集を終って〉

・中表紙写真について
・「表紙装画」 第九回絵のまち尾道四季展「グランプリ」
「吉和漁港」三上洋子 広島県佐伯郡大野町
・題字 藤原 勝子
・装画・カット 前川 里子

高垣 惠正…11
花本 圭司…119
水野 邦三…127
青木 博…134
石倉登喜子…139
渡辺 哲…142
高垣 俊雄…147
小山 歩…151
船木 幸人…154
小西 眸…161
船木 幸人…163

句会 瑠璃…173
狩俳句会・尾道支部…182
風「雉」三原句会…188
入船 裕二…189
久井 茂…190
吉野 太郎…192
信来 民夫…194
山口美沙子…195
仲尾 修…198
波動・うずしお短歌会…200
世紀短歌会…209
浦崎短歌会…219
小西 眸…224
池辺ケイコ…226
光原 百合…231
光原 百合…234

◇ 237

◇ 249

◇ 252

◇ 160



巻頭言

§ 絵画・工芸・彫刻

§ 二十周年に寄せて

詠史川柳

尾道市文化協会創立二十周年を祝して

尾道の自然と文化雑感

今日的絵画について思うこと

成人式を迎える尾道文化―編集室から―

尾道市文化協会会長

入船 裕二…◇6

…◇7

§ 交流文学

”松山と尾道”を結ぶ文学交流

尾道と山頭火

第二回文学ルート川柳

第五回しまなみ海道俳句大会

第十四回全国健康福祉祭広島大会 二〇〇一ねんりんピック 広島俳句交流大会

高村 昌雄…◇32

…◇33

…◇38

…◇40

…◇42

§ 評論

化政期、尾道を訪れた文人たち(二)―防士峠を越えて来た人たち―

尾道が生んだ巨匠(第三回) 彫刻家矢形勇氏の尾道在住時代

没後から地元で各団体の努力 尾道とゆかりの女流作家林美美子

私的文学考(18) 諒安の見た「マグノリア」の白い花

パリの林美美子

「中井正一研究会」ってどんな会?

入船 裕二…◇43

清水 金二…◇48

森本 輝郎…◇54

藤井 杜次…◇58

清水 英子…◇65

小西美智子…◇73

§ 随想

唄と私と尾道と…

忘れ得ぬ人々 I 阿部知二さん

木瓜の詩

インダス・ガンジス・サトレジ・プラマプトラの四大河川が流れ出す、
聖なる山カイラス・聖なる湖マナサロワールの周辺

高垣 葵…◇78

今井ひでお…◇84

久井 茂…◇87

吉田 繁…◇90

行々風さんのこと その二

麻生路郎・葭乃句碑建立について

母への賛歌

尾道・オンフルール美術交流の旅

尾道大橋の建設までの思い出

秋のうた

師弟一如―新制中学の頃―

浦崎の野鳥 トラツグミ(虎鶴) 古名ヌエ(鶴)(鶴)

映画百年 小津調・美学「東京物語」

芸能の華

本をつくる話

畠中美恵子…◇96

畠中美恵子…◇101

春野 章夫…◇105

佐藤 圭史…◇112

栗本 秋夫…◇120

小西 眸…◇123

青木 博…◇126

小山 歩…◇131

船木 幸人…◇135

船木 幸人…◇139

高垣 憲正…◇142

§ 文芸

・漢詩 中島棕隠

・現代詩 美しい歩道橋

チユーリップ

白い花

郷愁

かぞえうたの歌い方

その時

・短歌 一二五首

入船 裕二…◇146

吉野 太郎…◇147

信来 民夫…◇150

高垣 憲正…◇151

仲尾 修…◇153

木村大刀子…◇155

山口美沙子…◇158

世紀短歌会…◇60



| | | | |
|---------------------------|------------|-----|-----|
| チエリリップ | 信来 | 民夫 | 230 |
| 白い花 | 高垣 | 憲正 | 235 |
| 郷愁 | 仲尾 | 修 | 240 |
| かぞえうたの歌い方 | 木村大刀子 | | 245 |
| その時 | 山口美沙子 | | 250 |
| 短歌 | 世紀短歌会 | | 255 |
| 一二五首 | 浦崎短歌会 | | 260 |
| 四五首 | 波動・うずしお短歌会 | | 265 |
| 七〇首 | 仲尾 | 修 | 270 |
| 冬の野 | 狩俳句会・尾道支部 | | 275 |
| 俳句 | 句会 | 瑠璃 | 280 |
| 六〇句 | 風『雉』 | | 285 |
| 九〇句 | 島 | 匠介 | 290 |
| 一〇句 | 幡地谷 | 領 | 295 |
| 小説 | 黒田 | 歩兵 | 300 |
| 遙かなる機影 | 矢嶋 | 伊作 | 305 |
| やもうえんたあゆうけどのう | 池辺 | ケイコ | 310 |
| 免許皆伝 | 光原 | 百合 | 315 |
| 英作君 | | | 320 |
| 十五夜の晩に | | | 325 |
| 天の羽衣異聞・かぐや姫の憂い・ぬらりひよんのひみつ | | | 330 |

§写真・書・華道
§「文学関係著書発刊の記録」「寄贈図書を紹介」「尾道市文化協会会員行事」

| | | |
|---------------------|--------|-----|
| 〈編集を終わって〉 | … | 246 |
| 〈コラム〉滯のみち | ◇53・57 | 122 |
| ・表紙装画「秋山」(尾道市立美術館蔵) | 小林 | 和作 |
| ・題字 | 藤原 | 勝子 |
| ・装画・カット | 川崎 | 一郎 |
| | ◇ | 241 |
| | ◇ | 235 |